

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.27

発行所／270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内

はじめに福音主義ありき

全国理事長 工藤 弘雄

1970年4月、日本福音主義神学会が誕生して今年で34年を迎える。宗教改革運動の4類型、ルーテル派、改革派、再浸礼派、英國国教会を根元とし、その後の歴史の中で派生した諸教会のそれぞれの神学、伝統を背景にもつ学会員たちが、相互の理解を深めながら、神学研鑽に努め、教会の健全な発展のために地道な歩みを続けてきた。多様な神学、伝統を背景にしながらも、神学的対話をし、神学的理解を深め、その向上を図ることを可能にさせたものは、言うまでもなく聖書に対する共通の信仰があったからに他ならない。「聖書は全て、ことごとく神の靈感によって書かれた誤りのない神の言葉である」という、聖書の十全・言語靈感を信じるという聖書信仰こそが福音主義神学の屋台骨であったことをあらためて痛感せざるを得ない。

1846年、ロンドンにおいて、福音主義に立つプロテstant教會が國際的連合團體である世界福音同盟会を結成した。その時採択された「九箇条の信仰規準」の第1条において、「聖書が神の靈感によって成ったものであり、その權威と十全性を有する」ことが明記された。日本にプロテstant・キリスト教がもたらされたのは1859年であったが、世界の宣教史上に目を点するとき、その時期が世界宣教歴史上最大規模のリヴァイバルである1858～59年の信仰復興運動の中であったことを思い起こす。その

リヴァイバルの火を受け、福音宣教の情熱に燃える宣教師たちが満を持して「一気に、公に」来日し、日本のプロテstant・キリスト教の基礎を築いた。E.オアーが指摘するようにこの信仰復興運動を推進させた要因は福音同盟会にあった。従ってその福音同盟会と信仰復興運動の中で起こされた日本の初期プロテstantイズムは密接不離の関係にあった。福音同盟会の提唱する初週祈祷会の開催、その最中誕生した日本基督公会、その公会の信仰規準としてそのまま翻訳して用いられた「九箇条」、キリスト迫害に対する福音同盟会の抗議等々に両者の繋がりを見る。

「はじめに福音主義ありき」と言ったが、日本のプロテstantイズムの「原点」は紛れもなく福音主義であった。その後の歴史の営みを見ても、福音主義は日本のキリスト教界の傍流では決してない。百台のピアノが互いに同じ音に合わせることは至難である。しかし、一つの音叉でそれぞれが調律されればそれは可能である。日本のプロテstant教會の原点を自覺しつつ、福音主義神学界のそれぞれの神学的伝統を重んじながらも、あくまでも聖書信仰に立つ福音主義の音叉で調音されたそれぞれの楽器を用い、福音主義神学の研鑽と対話の交響曲を奏でながら、今後とも日本の福音宣教と教会形成に付与する学会であり続けたく願わされる。

◆ 各地区部会報告 ◆

東部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：藤本満
書記：倉沢正則
会計：金本悟（藤原導夫）

◎学会誌：木内伸嘉

◎部門理事 聖書学：内田和彦、遠藤嘉信
組織神学：大瀧信也
歴史神学：横山 武
実践神学：藤原導夫

2. 研究会・講演会

①春の研究会：2003年5月12日

津村俊夫氏「聖書翻訳の諸問題」

松本曜氏「新改訳聖書と新共同訳聖書における二人称表現（と文末動詞語形）：翻訳の目標言語の特性と聖書翻訳」

②秋の研究会：2003年11月17日

全体講演「アダムの歴史性をめぐる多角的考察」発題者：野口誠氏、応答者：内田和彦氏
部門発表

組織神学部門：込尾隆義氏「啓示にみられる信仰と理性」、斎藤五十三氏「『律法から祈祷』～ハイデルベルク信仰問答の聖化論」

実践神学部門：西岡義行氏「教会成長論を現代に問う」

③部門活動

聖書学部門：2004年1月26日

研究発表 鞆木由行氏「聖書翻訳の諸問題：エリヤの生涯を中心として」

松木充氏「新約聖書の本文・釈義・翻訳：山上の説教を中心とした」

組織神学部門・実践神学部門：秋の研究会を参照

3. 会員異動

（転入）神谷聰子（日本長老教会：中部部会より）

（入会）具志堅聖（JEA総主事、実践神学）、関野佑二（聖契神学校長、聖書神学）

（退会）宇田進、中富清和、舟喜順一

中部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：安村仁志
書記：石川正
会計：佐々木保雄

◎学会誌：松浦剛

◎理事：相馬伸郎、水上勲

2. 研究会・講演会

公開講演会 2003年5月19日

藤本満氏「女性教職者論」

秋季研究発表会 2003年11月17日

東正明氏「イエスの目的的対応の一考察」－牧会カウンセリングへの応用
相馬伸郎氏「日本キリスト改革派教会の創立と日本における福音主義教会形成の課題について」

中部部会会報第3号

安村仁志「福音主義神学会中部部会の20年」
牧田吉和「福音主義神学における21世紀の課題」
松浦剛「聖書の動物の書誌文献について」
中村孝「パバニアニギニアだより」
安村仁志「現在のロシア正教をめぐって」
野町真理「神の痛みの神学」のキリスト中心的理解」

3. 会員異動

（入会）野町真理（日本同盟基督教団 豊橋ホサナ・キリスト教会）
小林茂（日本基督教団 赤池教会）
（転入）間島直之（本人に東部部会へ申し出ていただくよう連絡）
（退会）小野静雄、折戸正義、奥深山頼義、神明宏

西部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事
理事長：工藤弘雄
書記：正木牧人
会計：鷹取裕成
◎学会誌：市川康則
◎理事：牧田吉和、橋本昭夫、津村春英、福田充男、瀧浦滋、安黒務、真鍋孝、石黒則年

2. 研究会・講演会

①秋の研究会

2003年10月27日（関西聖書神学校）

テーマ：「ジョン・ウェスレーの救済論—オールド・カルテイスをめぐって」
講演：工藤弘雄

レスポンス：牧田吉和

②春の研究会

2004年4月26日（神戸ルーテル神学校）

テーマ：「福音は束縛か解放か？—礼拝の原則と実践—」
講演：信岡章人司祭（神戸聖ペテロ教会）

③部門別研究発表

神戸ルーテル神学校 梶西昭男

「個人的罪の告白とゆるしの宣言」

神戸改革派神学校 岩崎謙

「宣教する教会の説教」

福音聖書神学校 杉貴生

「牧師とは何か—その使命と役割」

関西聖書学院 菅徹哉

「我喜屋聖化論とウェスレян聖化論の比較研究」

関西聖書神学校 大頭眞一

「ニュッサのグレゴリウスの聖化論」

大阪キリスト教短期大学神学科 津村春英
「ヨハネの手紙研究史」

3. 会員異動

- 〈入会〉(正会員) 金井由嗣
- (退会) (賛助会員) 青谷ルーテル教会
- (正会員) 村上満、中島守、岩本助成、籠谷昌宏、
広野善彰、春名徹夫、中谷建晴、園山陽輔、重
元清、高松隆二、丸山安太郎、春名純人、森山
健也、横田武幸。
- 〈転出〉北秀樹 (東部へ)。

全国理事会報告

2004年6月7日 午後1:30～4:00

愛知県中小企業センター

東部：藤本満、藤原導夫、木内伸嘉、遠藤嘉信
中部：佐々木保雄、松浦剛

西部：工藤弘雄、正木牧人

〈開会祈祷〉 藤本満全国理事長

〈報告〉

1. 各部会報告。
2. 学会誌編集委員会報告。(木内伸嘉)
3. 全国会計報告。(藤原導夫)
4. JETSニュース報告。(佐々木保雄)
5. 全国研究会議準備会報告。(藤本満)

〈議事〉

1. 全国理事会の組織。
理事長：工藤弘雄
書記：正木牧人
会計：藤原導夫
2. 全国会員名簿作成の件。3年目。西部担当。
3. 学会誌の件。第35号市川康則編集長。
4. JETSニュースの件。中部担当。
5. 全国会計予算。2004年負担金見直し。
6. 東部・中部共催の全国研究会議に合わせ両理事会に相互派遣。
7. 今後情報交換の際、応答メール等で確認励行。
8. 次回全国理事会。

2005年6月6日午後1:00～4:00、
愛知県中小企業センター会議室

2005年全国研究会議・第一回準備委員会報告

日 時：2004年6月7日

会 場：愛知県中小企業センター会議室（7階10号室）
出席者：藤本満、佐々木保雄、松浦剛、工藤弘雄、正木牧人、木内伸嘉、藤原導夫、河野勇一、遠藤嘉信（敬称略）

- ・開会祈祷 藤本 満 (コロサイ2章)
- ・準備委員会における実行委員長、書記、会計の選出：
実行委員長：藤本 満
書記：遠藤嘉信
会計：松浦剛（中部部会より）

議 事：

- 1) 開催時および開催地に関する事項
・日時：2005年11月28日（月）～30日（水）

・会場：名古屋YWCA（栄）(120名収容可、会場費10万円程度)

*備考：参加者の宿泊の申し込み等に関しては近隣施設を紹介し個人に委ねる（神戸方式）

2) テーマに関する事項

- ・「靈性」とする（「福音主義神学の焦点と広がり」ではなく）
- 3) プログラムに関する事項
- ・全体図として、主題講演（50分?60分）を4つ（28日に1つ、29日に2つ、30日に1つ）、それぞれ応答（30分）およびフロアからの応答（30分）
- ・講演者および応答者に関する提案（最終的には東部部会で調整を行う）

教義学から 講演者：牧田吉和氏、

応答者：小林牧人氏

聖書学から 講演者：内田和彦氏（新約）、

石黒則年氏（旧約）

実践神学から 講演者：坂本誠氏、

応答者：太田和功一氏

歴史神学から 講演者：渡辺睦夫氏、

応答者：橋本昭夫氏

（その他、窟寺俊之氏（スピリチュアルケア）も挙げられた）

- ・申し込み、会費等の受領は、中部部会（名古屋の事務局）で行う
- ・パンフレットは東部部会で作成・発送を行う（中部部会が会場、宿泊に関する資料を提供する）
- ・会計は中部部会が行う（講師の謝礼等も前回に準ずる）

4) 全体のタイムテーブルに関する事項

- ・1994年（第七回全国研究会議）準備スケジュールに準ずる
- ・閉会祈祷 正木牧人

学会誌報告

①学会誌 編集委員

東部：木内伸嘉、藤本 満（補佐）

中部：松浦 剛

西部：市川 康則

②編集委員 役割

委員長：市川 康則、書記：松浦 剛

③34号「『いのち』をめぐって」には主論文4点、書評3点、他を掲載。

④35号 特集「讃美歌」

主論文「讃美歌の今日的諸問題」

「詩篇歌」

「教会讃美歌」

「チャーチズ・ウェスレーの讃美歌」

「新型歌」

以上5点準備中

書評執筆者：内田 和彦氏、渡辺 睦夫氏

⑤36号 特集「祈り」（仮題）

日本福音主義神学会 全国会計報告
2003年度決算報告及び2004年度予算(2003/6/1~2004/5/31)

収 入				支 出			
項 目	03年度予算	03年度決算	04年度予算	項 目	03年度予算	03年度決算	04年度予算
東部分担金	500,000	500,000	450,000	学会誌出版諸費	800,000	800,000	800,000
中部分担金	100,000	100,000	70,000	理事会費	130,000	77,310	150,000
西部分担金	390,000	390,000	350,000	事務通信費	10,000	1,140	10,000
学会誌売上(額)	70,000	97,547	90,000	研究助成金	50,000	0	50,000
広告収入	200,000	130,000	150,000	J E T S 作成費	50,000	19,635	30,000
雑収入	100	56	100	全国名簿作成費	0	0	200,000
				出版基金へ	100,000	100,000	0
				全国研究会議費	0	0	0
				予備費	481,958	0	451,476
小 計	1,260,100	1,217,603	1,110,100	小 計	1,621,958	998,085	1,691,476
繰 越	361,858	361,858	581,376	繰 越		581,376	
合 計	1,621,958	1,579,461	1,691,476	合 計	1,621,958	1,579,461	1,691,476

出版基金会計 2003年度決算報告

収 入		支 出	
全国会計より	100,000		
繰 越	1,108,421	繰 越	1,208,421
合 計	1,208,421	合 計	1,208,421

会計担当 藤原導夫

日本福音主義神学会ニュース

2004年9月1日発行

発 行 日本福音主義神学会
 編 集 佐々木保雄
 印 刷 (株) あるむ